

# 立冬の候

# はぐるま

十月は季節外れの

毎年恒例、2泊3日のはぐるま登山は、

毎日継続しているマラソン（体力づくり）

真夏日が二か月前

東北旅行があったので、縮小し相模湖を囲む

日々の労働・作業

（仲間連帯）

一足飛びに雪の便りが届きました。

山「石老山」を選びました。頂上（700m）まで2時間位ですが、岩場や木の根っこ、石

規則正しい生活（体内時計に沿った生活）等仲間が行っていることの、総合的活動として

世間では、クリスマスソングが流れ、商店街に、おせちの広告が見え始めています。

階段、尾根道など、今まで八ヶ岳で経験したすべての要素が凝縮された山道なので、緊張感ある山行となりました。

位置づけています。加えて今回の登山は足場の悪い、濡れている岩場の緊張感と、紅葉を愛でるリラククス感。風の音香。高台の陽だまりで食べるおにぎりの「う・ま・い」

そんな気持ちをおおらないで、あと少し、秋の気分を味わいたいです。

感ある山行となりました。

ことを、実感できた登山でした。

只今 銀杏が黄葉真っ盛り、仲間は紅葉の「石老山」に登りました。

感ある山行となりました。

こんな登山ができる事を喜びと感じながら、どのように年を取っていくか!!のヒントがたくさんあったように思います。障害が重度化したり、病気がちな仲間が増えてきました。年齢構成が10代から50代と幅がある

真っ盛り、仲間は紅葉の「石老山」に登りました。

感ある山行となりました。

中で、仲間の要望も広がっています。このような実態を踏まえ、登山を再構築しなくてはならない時期に来ている様です。



はぐるまの登山は

No.77号

2013年12月6日

社会福祉法人  
はぐるまの会

広報委員会  
後援会

川崎市多摩区首馬場1-18-17

Tel 044-946-1308



拝啓 安藤延夫 様

麻生区片平で仲間たちと野菜づくりをはじめから13年の月日が経ちました。すべてはここから始まりました。知的障害者と農業をやりたいたいなんて・・・プロの農家さんから見れば、土遊び程度の仲間たちとの農作業に、不安を覚えたことでしょうか。なのに大切な農地を貸してくださいました。時にはお叱りを受けながらも、気長に我々を見守っていただきました。安藤さんの畑で学んだ12年間を忘れずに、これからは宮前区水沢の地で仲間たちとの農業を営んでいきたいと思えます。心より御礼申し上げます。

おかげさまで  
新転地で、収穫祭  
を開くことができました。  
お礼かたがた報告  
を致します

敬具

はぐるま稗原農園収穫祭

11月4日(祝)はぐるま稗原農園で初めて迎える「実りの秋」を祝い、日頃お世話になっている地域の方々への感謝および交流を目的とした収穫・大感謝祭を開催しました！

大賑わいの収穫際  
となりました！



多くのご来場をいただき  
ありがとうございました！

このイベントは、オーナー・ビストロカプリ シュー・地域で活躍されている市民団体の方々よりお声かけをいただき、はぐるまの農業活動の目標としている「都市型福祉農園」という

福祉施設の在り方を実際に体験して頂くための場づくりとして各団体の代表からなる実行委員会形式で企画いたしました。

当日は、午前中小雨の降る中、200名以上の方々にご来場いただきました。

プロのシェフによる本格的な料理ブースをはじめ、石焼き芋、石窯焼きピザ、料理教室などの各体験教室、プロのアーティストによる豪華ライブ、子供たちとのゲーム大会など、地域の方々と普段できない貴重な「ふれあい」の場として大いに農園の良さを味わってもらうことができました。たのではないかと思えます。特に、サツマイモ掘りや野菜収穫時の仲間たちと子供たちのはじける笑顔、音楽祭での来場者と一体となった空間など、これまでにない素敵な時間を共有でき、他のイベントも盛大かつ有意義に無事幕を閉じることができました。

過去・現在たくさんの方に支えられている事に改めて感謝した「収穫祭」であり、また未来にむけて、確実な一歩を踏み出せた実感を持ちました。

ご来場の皆様ありがとうございました。

# 事業報告

## 内覧会のお知らせ

第2ホーム新築のため移転します。  
現在の第2ホームへ、支援センターとヘルパーステーションが移転します。

年の瀬を迎え、年内も余すところわずかなりましたが、皆様には、ますますご活躍のことと拝察いたします。

菅地区の皆様には、日頃より大変お世話になっております。

さて このたび《株式会社日東様》のご厚意によりはぐるまの意向に沿ったグループホームを新築していただき、この程完成に至りました。  
つきましては地域の皆様に、自由に見ていただく、内覧会を開催いたしますのでお気軽にお越しください。

**日時 平成25年12月12日(木)**  
**午前10時～午後2時**

※ 上の文書を近隣の方にお便りを致しましたはぐるまの関係者の方も、ご覧いただけます。

### これからのホームは...

今回の新築で女性定員4名から5人に増やし、新しい仲間を受け入れます  
ホームの需要は年々高まり、問い合わせ



三沢川から見る全景



15畳の明るいリビング



介護しやすいスペースを確保したトイレ



玄関からリビングを見る



車いすでも使いやすい洗面所

は市外にも及びます。しかも、高齢で両親とも住めなくなった緊急の状態が多いのが特徴です。個々の事情を聴く度に心痛む思いです。物件そのものが無い！従事する職員が確保できない！どうしようもない現実には、私たちはどのような対策を施せばよいのでしょうか。ホーム歴30年の「はぐるま」の使命は何でしょう。ホームの役割は「みとり」まで見据えなければならぬと謳った時から、人間の人生の重大な局面に何度も立たされたですが、地域・行政・関係施設・あらゆる協力の元対応してきました。どの分野もきつと同じ危機感を持つてはいるはずですので、仕組みから考えなくてはなりません。  
26年度からグループホーム・ケアホームが統一されすべてグループホームと名称が変わりますが、生活の仕方に線引きは難しいものです。100人/100通りの生活スタイルをどのように支援できるかは、現場から常に現状を発信していきたいと思えます。はぐるまは、《生涯働ける、健康な身体と安心して暮らせる場所》を追求していきます

# はぐるま後援会だより

はぐるまの会 後援会事務局

〒214-0004 川崎市多摩区菅馬場1-18-17

TEL 044-946-1308 平成25年12月 NO, 26

**新規加入ありがとうございます（敬称略）** 石塚 謙二 / 遊来區（山田）/ 清水 保臣  
**更新をありがとうございます**

今野 夏子 / 末松 恵 / 高木 綾 / 橋本 妙 / 福田 真 / 保田 和美 / 永野 愛  
福田 真 / 原口 三重子 / 佐々木 綾太 / 橋本 静代

## 寄付金をありがとうございます

（敬称略・順不同）

橋場商店

大作自治会

大黒屋

中野島商店街

麻生実行委員会

くうさんのお店

きょうされん

飯嶋 正子 / 丸山 玉江

野瀬 佐知子 / 東郷 愛子

福田 真 / 志岐 チエ子

（仲間の家基金に積み立てを致しました）

## 物品寄付をありがとうございます

遠井保険事務所

※仲間の書いた数字をカレンダー

にしていたいただきました。売れた分を

寄付して頂きます。まだ数枚ありま

す。購入いただける方は、

第一作業所まで連絡を下さい。

## 後援会の活動を開始しました

今年度の後援会役員会で立てた目標は

「後援会として収入を得る活動をする」

でしたので、少しずつできることから始め

る事にしました。過去の実績としては、

「ふるさとをください」映画会を行いました

が、以来活動をしていませんでした。

他の施設では、コンサートをしたり、講演

会をしたりと、いろいろな活動があります

が、できれば仲間と一緒にできる活動をし

たいとの、横渡会長の意向で、小さいなが

ら楽しく活動ができればと思っています。

まずは

11月4日・稗原農園収穫祭に参加

コーヒーを販売しました。

**※3700円の売り上げ計上**

11月23日・星丘バザーで、工房の野菜

を仕入れ販売しました。

**※6100円の売り上げ計上**

役員さん ご苦勞様でした。

次回は26年2月の 調布大学の地域交流

会に出店予定（役員会にて検討）